



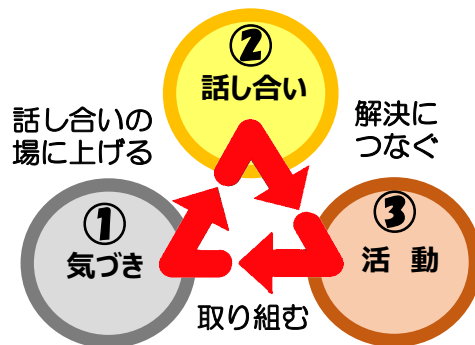
いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らすためには、どうすればいいのでしょうか？

趣味や特技を活かした活動やつどいの場を充実させて、笑顔があふれる地域、お互いさまの思いやりと支えあいの仕組みを地域の皆さんと一緒に考えていきます!!

大和郡山市社会福祉協議会では、「地域の課題解決力を育む地区社協づくり」を目指して、地区社協と協働で、課題解決サイクル「地区社協 大和郡山モデル」の構築に向けて取り組んでいます。

- ①住民同士がつながりを持ち、生活・福祉課題に気づく (発見する)
- ②住民参加による生活・福祉課題を共有、解決する
- ③生活・福祉課題を共有し、新たな活動を生み出す

【地区社協 大和郡山モデル】



## 「片桐地区懇談会」を開催

大和郡山市社会福祉協議会 地域福祉活動計画の重点的な取り組みである「地域の課題解決力を育む地区社協づくり」に向けて、片桐地区社協役員・部会員を中心に、ワイワイと意見出しを行いました。

日時	令和3年11月6日(土)、20日(土)
場所	片桐地区公民館
参加者	地区社協理事・部会員 1回目:40人/2回目:49人



### ステップ1：理想の片桐地区の姿を整理

<p>交流・つながりのあるまち</p> <p>気軽に集まれる・集える場がある</p> <p>交流・つながるためのイベント・仕組みがある</p> <p>あいさつ・近所づきあい</p>	<p>安全・安心なまち</p> <p>見守り・助け合い 相談支援の充実</p> <p>防犯対策</p> <p>安全な道路・交通安全 安全・安心な通学路</p>	<p>移動しやすい・ 出かけやすいまち</p> <p>誇り・愛着の持てるまち</p> <p>持続可能な生産活動が できるまち</p>
<p>子ども・子育て世代が 住みやすいまち 若い世代が夢を持てるまち</p>		

## ステップ2：理想の姿を実現するために片桐地区社協でできることを整理

### 具体的な場づくり

- 公民館、自治会館、集会所グラウンド、公園等の活用 ■空き家の活用
- コンビニのイートインスペース ■学校の拠点化
- 気軽に集まれるサロン、ゆる〜く・ゆったりと集う場  
→高齢者対象、子育て世代対象、多世代交流型、テーマ型、目的なし型
- 駄菓子屋、地域カフェ、子どもが自由に遊べる場所→子ども・子育て世代・若い人が気軽集える場等



### イベント・機会づくり

- 農業を利用した機会づくり→多世代での農業活動、農産物販売、朝市
- 防災活動を通じたつながりづくり（訓練・学習・パトロール等） ■フリーマーケット
- スポーツ・ゲーム・運動会 ■ラジオ体操 ■料理教室 ■清掃活動 ■アダプトロード活動
- 公園を活用したイベント ■既存組織（老人クラブ、子ども会、婦人会等）の活動の活性化
- 多世代交流の機会づくり  
→子育て世代が高齢者に相談できる機会、子どもが高齢者に何かを教える機会、高齢者が学校行事へ参加

### 仕掛けづくり（既存活動・組織の見直し、担い手の確保、情報発信等）

- 自治会の活性化 ■既存組織の活動の見直し（棚卸し）
- 自治会間の交流、他地域との連携・協働←地区社協による支援！
- 組織外の協力者づくり ■担い手づくり→元気高齢者、若い世代・やる気ある人の参画促進
- 地区社協の20歳以下の部会設置 ■若い世代が地域参加の仕組みづくり
- 地区社協による支援（スケールメリット） ■場・イベントまでの移動手段の確保
- 情報発信・情報共有の仕組み（SNS・WEBの活用など）

### 安心して暮らせるまちづくり

- 地域で見守り活動を実施→子ども・高齢者の見守り、自治会の情報共有等
- 自治会で避難訓練を実施→定期的な避難訓練、社協・行政との連携

### 片桐地区版の移動支援

- 矢田地区「おでかけGO」のノウハウを学び、片桐地区のノウハウを創る（地区社協で実施）
- 地域の移動に関するニーズを把握する（地区社協で実施）
- 福祉事業者とのタイアップを検討・実施（地区社協で実施）

### その他

- 住んでいる町を知ることができる催し  
→フォトロゲイニング大会、フォトコンテスト、おでかけマップ等作成・配布
- 片桐地区の資源を活用→空き家、歴史関係、施設・店舗、桜の木（自然）
- 農地・ため池などの片桐地区の強みを活かした持続可能な生産活動  
→道の駅ミニ版、販売所、朝市、新規就農者の確保、耕作放棄地の活用など



### ●片桐地区懇談会の結果は？

片桐地区懇談会で話し合った結果を踏まえ、片桐地区社協において、具体的な環境整備、取り組みの進め方などを整理・検討し、令和4年度からの実践につなげる予定です。



### 【地区社協ってなに？】

市内には8つの地区社会福祉協議会（略して地区社協）があり、地域住民をはじめ、自治会、民生・児童委員、老人会、PTAなど、各種団体やボランティアらが主体となって、住民一人ひとりの生活・福祉課題を地域の課題として受けとめ、「誰もが安心して暮らすことのできるまちづくり」を推進する住民組織です。住民相互の支えあい活動を広げるため、講演会や世代間交流事業を開催したり、高齢者の見守り活動や健康づくりなどに取り組んだりしています。

高齢化が進むなか、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、住民同士のつながりや見守り、支えあいの仕組みが必要となります。

生活支援体制整備事業では、地域の皆様とともに身近な地域での支え合いの地域づくりを進めます。（大和郡山市委託事業）

【問合せ】大和郡山市社会福祉協議会 福祉課  
大和郡山市植槻町3-8社会福祉会館内  
電話 53-6531/FAX 55-0986